

令和4年度第1回秦野市通学路安全対策推進懇話会 会議記録（要点筆記）

日時	令和4年7月27日（水） 午後2時～午後3時50分
場所	秦野市役所西庁舎3階大会議室
出席者	懇話会委員
	秦野市立小学校長会 : 有馬 俊一 東海大学 : 鈴木 美緒 秦野市自治会連合会 : 高橋 正弘 秦野市PTA連絡協議会 : 竹尾 信行 秦野市交通安全協会 : 古谷 光一
出席者	教育長 : 佐藤 直樹
	教育部（部長） : 原田 真智子
	地域安全課（課長） : 影山 洋一
	"（課長代理） : 小山田 和彦
	建設管理課（課長） : 澁谷 治
	"（課長代理） : 松本 貴昭
	学校教育課（課長） : 坂口 憲
	"（課長代理） : 坂本 正之
"（主事補） : 立屋 雅貴	
会議次第	1 開 会 2 教育長挨拶 3 出席者紹介・事務局職員紹介 4 座長選出 5 議 事 (1) 通学路安全対策推進懇話会の役割について (2) 通学路整備要望への対応状況について (3) 通学路見守りボランティア制度について (4) その他 6 閉 会

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 出席者名簿 ・ 【資料 1】 秦野市通学路安全対策推進懇話会の役割について ・ 【資料 1 - 1】 秦野市通学路安全対策推進懇話会設置要綱 ・ 【資料 1 - 2】 秦野市通学路交通安全プログラム ・ 【資料 2】 通学路整備要望への対応について ・ 【資料 2 - 1】 令和 3 年度通学路整備要望一覧 ・ 【資料 2 - 2】 令和 4 年度通学路整備要望一覧 ・ 【資料 3】 通学路見守りボランティア登録制度について ・ 【資料 4】 通学路の安全確保に関するデジタル活用学習の提案について
------	---

事務局

本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。まず始めに配付資料の確認をいたします。

－資料の確認－

続いて、教育長からご挨拶をお願いいたします。

教育長

千葉県八街市での事故から 1 年が経過しましたが、他人事ではなく自分事として、オール市役所で様々な交通安全対策を進めてきました。

本日は、市民から届いた投書を紹介させていただきます。

「水神町の交差点は通学路であるにも関わらず道幅が大変狭く、子どもたちが大変危険です。以前から何度も市に訴えていますが、改善が見られません。市の担当者は、現場を確認し、状況の深刻さを理解してください。」

様々なご意見に対し、各部署で対策を行っていただいておりますが、中々解決に至らないものもあります。この懇話会で、様々な立場の皆様から知恵をいただきたいと切にお願いいたします。

実は私が指導主事をしていた頃、市内の小学校で 1 名の児童が亡くなる事故に対応しました。担当の指導主事として、事故発生後 1 週間で、子どもたちの心理的ケアに携わった経験がございます。八街市の事故は、決して他人事ではございません。

本日お集まりいただいた皆様の新たな視点を、是非我々に授けていただきたいと思います。

最後になりますが、本日資料4を付け加えさせていただきました。ソフトバンク様がCSRという社会貢献での新たな取り組みとして、子どもたちが考える通学路の安心安全、というようなお話もいただいています。皆様がそれぞれのどのような感想をお持ちになったかお聞かせいただいたことを踏まえ、今後各学校と協議してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。教育長は公務のためここでご退席となります。

次に、配付した名簿順に自己紹介をお願いします。

－出席者・事務局による自己紹介－

事務局 次に、ご出席の皆様の中から、会議の進行役として座長を選出したいと思います。

事務局としては、安全で快適、豊かな生活を実現する交通インフラデザインについて研究をされている鈴木様にお願いしたいと考えていますが、皆様いかがでしょうか。

－異議なしの声あり－

それでは鈴木様に座長をお願いしたいと思います。鈴木様からひと言ご挨拶をいただけますでしょうか。

鈴木座長 座長をさせていただくことになりました、鈴木と申します。

子どもは大人の振る舞いを忠実に再現しようとするところがあります。私たちが通学路安全対策について熱心に取り組むことは、それを経験した子どもの交通安全に対する意識や、人格の形成にも響いてくると考えています。

皆様にご協力いただきながら、秦野市らしい安全対策を模索できればと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局 鈴木様、ありがとうございます。ここからは会議の進行を鈴木様にお願いしたいと思います。

鈴木座長 それでは、最初の議題「通学路整備要望への対応状況について」に関し協議を始めたいと思います。事務局から説明を求め

ます。

事務局
鈴木座長 一資料の説明一
 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はございますか。

 一意見・質問なし一
 では、次の議題「通学路整備要望への対応状況について」に移りたいと思います。事務局から説明を求めます。

事務局
鈴木座長 一資料の説明一
 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はございますか。

竹尾委員 同じ箇所でも保護者によって安全・危険に対する認識が違いかと思います。合同点検の実施箇所について、「地域住民から危険が指摘されている箇所」とはどのような基準で考えているのか教えてください。

事務局 地区別市政懇談会でいただく要望の中で、通学路の安全に関するものとして挙げたものを、主に取り上げています。

高橋委員 市内で広く様々な対策を行っていただいていることが感じられますが、長年要望していても状況が進展しない箇所もあり、優先度があることも承知していますが、どうしたものかと頭を悩ませています。

事務局 既存の対策では対応できなかった案件に対し、専門的見地から助言をいただいて代替案を探ることも、当懇話会の目的として考えています。対応が難しい箇所も見過ごすことなく、一つ一つ着実に対応していきたいと思います。

地域安全課長 対策の中には完了まで時間を要するものもありますが、完了までの期間に行える代替案等についても、懇話会からご意見をいただきたいと考えています。

建設管理課長 今年度ある箇所において、横断歩道設置の代案として道路を横断的に緑で塗る、新しい取り組みが進められることになりました。

 また、交差点を強調するため、ベンガラ色でロの字の塗装を施すこともいくつかの箇所で行っており、既存の交通規制に代

わる、代替的な対応の基盤も徐々にできつつあります。

鈴木座長 その箇所が、車両が原因で危険なのか、子どもの行動が原因で危険なのかを分類して考えると、より効果的な対策に繋がると思います。

 ヒヤリハット事例についてはどのように情報収集していますか。

事務局 先生方との会話の中や、要望書の中に記載された事例から情報を得ています。

古谷委員 8月10日の合同点検打ち合わせ日には間に合わない見込みですが、交通安全協会でも危険箇所をまとめていますので、完成次第提出させていただいてもよろしいでしょうか。

事務局 是非提出をお願いします。

竹尾委員 交差点を子どもが集団で渡る場合と、断続的に少人数で渡る場合とでは、どちらが事故が多いかというような研究データはありますか。

鈴木座長 統計データはありませんが、集団の方が車から発見されやすく、事故に繋がりにくいと思います。少人数だと、一人が渡り切ったところでもう一人が走って追いかける形で交差点に入るケースもあり、ヒヤリハットに繋がりがやると考えられます。

竹尾委員 では、朝に子どもの集団登校の列が交差点の信号待ちで滞留してしまい危険なため、信号待ちスペースが欲しい、との要望もあると思いますが、別の切り口からの対応を考えた方がよいでしょうか。

鈴木座長 要望どおりに信号待ちスペースを作れば登校時間帯の危険は減ると思いますが、下校時間帯には子どもたちは集団でなく個々で横断歩道を渡るため、また別の問題が発生してくる可能性はあります。

 その他ご意見等ございますか。

 では、次の議題「通学路見守りボランティア制度について」に移りたいと思います。事務局から説明を求めます。

事務局 ー資料の説明ー

鈴木座長 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はございます

か。

有馬委員 学校にとってはとても有難いことなので、是非進めて頂きたいと感じました。

古谷委員 交通安全協会では、指導員の態度等に関してクレームを受けることもあります。ボランティア登録者への指導はどのように考えていますか。

事務局 今回の制度では、交通指導に相当することは行わないことを想定しています。あくまでも声掛けや見守りを行うものである旨を登録者にご理解いただけるよう進めていきたいと考えています。

竹尾委員 犯罪者が登録して子どもに接する機会を与えることに繋がるのではないかと懸念を感じました。

事務局 また、貸与品について、ベストや帽子は、特に母親の皆さんは着用しづらいのではないかと思います。より手軽な腕章も検討してはどうでしょうか。

事務局 申込みに対し、氏名や住所が合致するか等の審査を行うこととしていますので、犯罪利用に対する一定の抑止になると考えています。

竹尾委員 貸与品の腕章の案についても検討させていただきたいと思います。

事務局 ボランティア登録者は地域で把握できるのでしょうか。

古谷委員 登録者の情報については、学校に共有したいと考えています。

事務局 市ホームページにも掲載して募集とありますが、交通安全協会も人手不足が問題となっており、もし可能であれば交通安全協会の募集についてもどこかに掲載いただくと有難いのですが可能ですか。

高橋委員 庁内で検討させていただきます。

事務局 組織に属していない人から、本当に申込者が集まるのか懸念を感じました。また、登録者に活動報告等は求めますか。

事務局 活動報告は求めませんが、アンケート形式で意見や感想をいただくことを考えています。

竹尾委員 例えば、自分の子の送り迎えをする時に貸与品を身に着け、それを見た人に見守り活動の存在を認知してもらい、というレベルの、人の目を作るような制度という認識でよいでしょうか。

事務局 お考えの通りです。

鈴木座長 登録者に対し、どこまでが対応してよい範囲なのかの線引きを明確に伝え、交通安全協会等での活動との違いを示す必要があると思います。

建設管理課長 建設部では、道路等美化ボランティア推進事業（アダプト・プログラム）を行っていますが、報告などの書類提出が、登録の足かせになっていると感じています。登録者に求める負担を極力なくす方向で検討いただければと思います。

古谷委員 健康増進の切り口からも高齢者をターゲットにした声掛けを行ってみるとよいのではないのでしょうか。

鈴木座長 その他にご意見等ございますか。

事務局 では、最後の議題「その他」に移りたいと思います。事務局から説明を求めます。

事務局 「その他」では、「通学路の安全確保に関するデジタル活用学習の提案について」に関し、ご意見をいただきたいと思いません。

鈴木座長 ー資料の説明ー

鈴木座長 ただいまの事務局の説明について、意見や質問はございますか。

竹尾委員 この事業の実施に当たり、費用は発生しますか。

事務局 現状では、試行的に小中1校ずつで取り組みを行う予定であり、ソフトバンク社のCSR活動の一環として実施しますので、費用は発生しません。

竹尾委員 案1について、Google マップを使うのであればソフトバンクを介する必要性はなく、各学校で取り組みを進めることも可能なのではないのでしょうか。

事務局 また、児童生徒が自分で利用している通学路を対象とする場合は、クラス単位だとグループワークとしての対応が難しいと

感じます。

事務局

案2について、子どもが通学路の安全を考える力を養うには、継続的な教育が必要であると考えますが、Pepperをある1コマの授業で利用しても、効果は限定的ではないでしょうか。

ソフトバンクからどこまでサポートいただけるのかが現時点では明確ではないため、確認しつつ有効な取り組みを模索したいと思います。

Pepperを使用することにより、子ども達の関心が非常に高くなると聞いています。その時の強い印象からも、教育的な効果はあるのではないかと考えています。

地域安全課長

毎年交通安全教室を開催していますが、このような地道な啓発活動だけではなく、Pepperのように違った切り口のものがあってもよいと考えます。

有馬委員

案1について、個の学習で終わらず、是非意見を言い合えるような学習にしてもらいたいです。また、このような形で子どもが自分の通学路を再点検することは大切だと考えます。

クラス単位で行うか、登校班や地区単位などで行うかは、工夫が必要ですね。

竹尾委員

子どもから見て危険だと思われる箇所を、案1で子どもが作成したマップから吸い上げることも有効ではないでしょうか。

鈴木座長

自分が危険だと考える場所を表現し、人に伝えることは、自分自身の気づきにつながるので、ソフトバンクのサポートの有無に関わらず、考えながら通学路を歩く機会を与えることは、良い学習になると思います。

子どもを危険から遠ざけ過ぎると、危険を察知したり考えたりする能力が育ちません。

案2は座学ですが、Pepperに何を話させるかを検討することが重要だと思います。

竹尾委員

案1について、作成した危険箇所のマップは子ども達が授業で共有するだけでなく、市内の学校間での共有や、市民に公開することで、大人にも気づきを与えられるのではないのでしょうか。

事務局

いただいた御意見を踏まえ、効果的な学習の実施につなげたいと思います。

鈴木座長

その他事務局から何かありますでしょうか。

事務局

一次回開催予定についての連絡事項を案内一

鈴木座長

何かご質問等なければ、以上で議題は全て終了となりますので、会議の進行を事務局にお戻ししたいと思います。

事務局

鈴木様、会議の進行、有難うございました。

それでは、以上をもちまして第1回秦野市通学路安全対策推進懇話会を閉会といたします。本日は長時間の御協議、誠にありがとうございました。